

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 2 級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名 1
	2	訓読み・送り仮名 2
	3	熟語 1
	4	熟語 2
	5	熟語 3
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正 1
	8	誤字訂正 2、類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方 1
	11	漢字の意味・使い方 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅠ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーや立ち居振舞いを学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本1
	2	面接の基本2
	3	言葉遣いと身嗜み
	4	立ち居振舞いとお辞儀
	5	入退室の仕方
	6	入退室練習
	7	入退室練習
	8	入退室練習
	9	入退室練習
	10	入退室練習
	11	入退室効果測定練習
	12	入退室効果測定練習
	13	入退室効果測定練習
	14	入退室効果測定
	15	入退室効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の成績を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験に向けての自己分析・自己PR作成を行う	
授業の進め方	自己分析および自己PR作成を行い、効果測定を実施する	
達成目標	自己PRが出来るようになり、自分らしさを表現できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析 1
	2	自己分析 2
	3	自己分析 3
	4	自己分析 4
	5	自己分析 5
	6	作文『今まで一番頑張ったこと』
	7	自己PR作成 1
	8	自己PR作成 2
	9	自己PR作成 3
	10	自己PR作成 4
	11	自己PR作成 5
	12	自己PRグループ発表準備
	13	自己PRグループ発表
	14	自己分析効果測定
	15	自己分析効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定および授業への参加姿勢を中心として評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定（実技による効果測定）を中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定（実技による効果測定）を中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ビジネスマナー学習のオリエンテーション
	2	職場のマナー
	3	敬語と挨拶
	4	敬語と挨拶
	5	接遇マナー
	6	接客マナー
	7	営業マナー
	8	商品説明
	9	商品説明
	10	商品説明（プレゼンテーション）
	11	商品説明（プレゼンテーション）
	12	クレーム対応
	13	社会人マナー
	14	電話応対基礎編
	15	電話応対基礎編
	16	電話応対基礎編
	17	電話応対基礎編
	18	電話応対応用編（伝言）
	19	電話応対応用編（伝言）
	20	電話応対応用編（伝言）
	21	電話応対応用編（伝言）
	22	第1回効果測定
	23	第1回効果測定の検証と第2回効果測定の準備
	24	第2回効果測定
	25	第2回効果測定の検証と第3回効果測定の準備
	26	第3回効果測定
	27	冠婚葬祭のマナー
	28	郵便のマナー
	29	電話での道案内
	30	クレーム対応
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWordとExcel等の操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	wordの基本操作 1
	2	wordの基本操作 2
	3	wordの基本操作 3
	4	wordの基本操作 4
	5	wordの基本操作 5
	6	Word効果測定
	7	Excel基本操作 1
	8	Excel基本操作 2
	9	Excel基本操作 3
	10	Excel基本操作 4
	11	Excel基本操作 5
	12	Excel効果測定
	13	PowerPointの基本操作 1
	14	PowerPointの基本操作 2
	15	PowerPointの基本操作 3
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	データの整理・集計①
	2	データの整理・集計②
	3	データの整理・集計③
	4	表の作成①
	5	表の作成②
	6	表の作成③
	7	グラフの作成・修正①
	8	グラフの作成・修正②
	9	グラフの作成・修正③
	10	印刷操作①
	11	印刷操作②
	12	印刷操作③
	13	実例演習①
	14	実例演習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	様々な文書作成スキルや実用的なスキルを身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	Word文書の作成①
	2	Word文書の作成②
	3	Word文書の作成③
	4	Word文書の作成④
	5	Word文書の作成⑤
	6	Excel文書の作成①
	7	Excel文書の作成②
	8	Excel文書の作成③
	9	Excel文書の作成④
	10	Excel文書の作成⑤
	11	Excel文書の作成⑥
	12	Excel文書の作成⑦
	13	Word&Excel混在文書の作成①
	14	Word&Excel混在文書の作成②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定1級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語1
	2	訓読み・送り仮名・熟語2
	3	同音異義・異字同訓
	4	誤字訂正、類義語・反対語
	5	漢字の意味・使い方1
	6	漢字の意味・使い方2
	7	漢字の意味・使い方3
	8	ことわざ・故事成語・慣用句 1
	9	ことわざ・故事成語・慣用句 2
	10	特殊な漢字の読み書き 1
	11	特殊な漢字の読み書き 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは①
	2	グループディスカッションとは②
	3	グループディスカッションの役割①
	4	グループディスカッションの役割②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション①
	6	抽象テーマ型グループディスカッション②
	7	抽象テーマ型グループディスカッション③
	8	課題解決型グループディスカッション①
	9	課題解決型グループディスカッション②
	10	課題解決型グループディスカッション③
	11	KJ法①
	12	KJ法②
	13	資料読み取り型グループディスカッション①
	14	資料読み取り型グループディスカッション②
	15	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートを総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	Excel基礎			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用方法を習得する			
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る			
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①	16	グラフの書式設定②
	2	ワークシートやブックの作成と管理②	17	オブジェクトの挿入や書式設定①
	3	セルやセル範囲のデータの管理①	18	オブジェクトの挿入や書式設定②
	4	セルやセル範囲のデータの管理②	19	模擬テスト①
	5	テーブルの作成①	20	模擬テスト②
	6	テーブルの作成②	21	模擬テスト③
	7	関数を使用してのデータ集計①	22	模擬テスト④
	8	関数を使用してのデータ集計②	23	模擬テスト⑤
	9	関数を使用しての条件付き計算①	24	模擬テスト⑥
	10	関数を使用しての条件付き計算②	25	模擬テスト⑦
	11	関数を使用した文字列の整形や変更①	26	模擬テスト⑧
	12	関数を使用した文字列の整形や変更②	27	模擬テスト⑨
	13	グラフの作成①	28	模擬テスト⑩
	14	グラフの作成②	29	模擬テスト⑪
	15	グラフの書式設定①	30	模擬テスト⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定（実技による効果測定）を中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら操作力を身につけ、プレゼンテーションを実践する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションの企画
	2	分かりやすいストーリー構成
	3	必要な情報の収集
	4	センスアップするレイアウトデザイン
	5	視覚に訴えるチャート化
	6	訴求力を上げるカラー化
	7	数値をアピールする表・グラフ活用
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用
	9	発表で魅せるアニメーション
	10	自信を高める万全な準備
	11	メッセージが伝わる発表スキル
	12	信頼を得る質疑応答
	13	プレゼンテーション準備
	14	効果測定①
	15	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定（実技による効果測定）を中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	文章の作成と管理④
	5	文字、段落、セクションの書式設定①
	6	文字、段落、セクションの書式設定②
	7	文字、段落、セクションの書式設定③
	8	表やリストの作成①
	9	表やリストの作成②
	10	表やリストの作成③
	11	参考資料の作成と管理①
	12	参考資料の作成と管理②
	13	グラフィック要素の挿入と書式設定①
	14	グラフィック要素の挿入と書式設定②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的 I 数的推理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	50時間	
授業回数	25回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式（方程式、不定方程式）
	2	方程式（不等式、過不足算）
	3	整数・計算パズル（約数と倍数）
	4	整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質）
	5	整数・計算パズル（数列、n進法）
	6	整数・計算パズル（その他、整数に関する問題）
	7	科目試験第1回
	8	割合と比（割合、比）
	9	割合と比（比）
	10	割合と比（売買算）
	11	割合と比（濃度）
	12	割合と比（濃度）
	13	速さ（速さ）
	14	速さ（旅人算）
	15	速さ（旅人算、通過算）
	16	速さ（流水算、時計算）
	17	科目試験第2回
	18	その他文章題（仕事算、給排水算）
	19	その他文章題（仕事算、給排水算、ニュートン算）
	20	その他文章題（年齢算）
	21	その他文章題（平均算）
	22	場合の数（場合の数）
	23	場合の数（順列、重複組合せ、円順列）、確率（事象と確率）
	24	確率（赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
	25	科目試験第3回
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅱ 判断推理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論理（対偶と三段論法）
	2	論理（ド・モルガンの法則、論理と集合）
	3	集合の要素（ベン図）
	4	集合の要素（キャロル表、交わりの最小値）、順序（順序の確定）
	5	順序（順序の変動）
	6	順序（順序の数値条件）
	7	順序（時計のずれ）、方位・位置（位置・座席表）
	8	方位・位置（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて）
	9	科目試験1回目、方位・位置（円卓・議長席・道をへだてて）
	10	方位・位置（方位・作図）、対応（対応関係）
	11	対応（対応関係、スケジュール表）
	12	対応（スケジュール表、対応の数値条件、やりとり）
	13	勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）
	14	うそつき
	15	暗号
	16	推理・手順（他人の判断から判断する1）、資料解釈（実数）
	17	推理・手順（他人の判断から判断する2、カードゲーム）、資料解釈（割合、指数、前年
	18	推理・手順（石取りゲーム、てんびん）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	19	推理・手順（手順）、資料解釈（増加率）
	20	資料解釈（いろいろな資料）、科目試験2回目
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅲ 空間把握	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）
	2	道順・一筆書き・位相（道順、一筆書き・位相）、平面構成（折り紙）
	3	平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成）
	4	正多面体・展開図（正多面体、展開図）
	5	立体構成（サイコロ）
	6	立体構成（積木の問題、投影図）
	7	科目試験 1 回目
	8	立体構成（立体の切断、回転体）
	9	平面図形の計量（角度）
	10	平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理）
	11	平面図形の計量（相似比）
	12	平面図形の計量（面積比）
	13	平面図形の計量（面積比）
	14	科目試験 2 回目
	15	平面図形の計量（円）
	16	平面図形の計量（円、扇形と移動図形）
	17	立体図形の計量
	18	立体図形の計量
	19	立体図形の計量
	20	科目試験 3 回目
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅰ 政治	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	政治の基本概念（政治と権力、近代国家）、政治過程論（立法過程）
	2	政治の基本概念（国家論）、政治過程論（大衆社会の政治）、政治制度論（権力分立論）
	3	政治制度論（議院内閣制、大統領制、各国の政治制度）
	4	日本国憲法の特色、基本的人権総論
	5	幸福追求権、平等権、精神的自由権
	6	自由権
	7	社会権、受益権
	8	憲法改正の手続き、国会の機構と運営
	9	国会の機構と運営
	10	内閣の機構と運営
	11	裁判所の機構と運営
	12	裁判所の機構と運営、地方自治
	13	地方自治
	14	政治過程論（政党と政党制、圧力団体）
	15	政治過程論（選挙制度）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅱ 経済・社会	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識、労働問題・環境問題など、社会の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済及び社会の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	経済社会の変容
	2	現代の企業
	3	現代の市場
	4	国民所得
	5	経済成長と景気循環
	6	通貨制度と金融政策
	7	財政制度と財政政策
	8	財政制度と財政政策
	9	日本経済の動向
	10	貿易と外国為替
	11	貿易と外国為替
	12	国際経済の動向
	13	国際経済の動向
	14	経済分野総復習
	15	社会理論
	16	労働問題
	17	社会保障
	18	環境問題
	19	環境問題
	20	国際関係
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅰ 生物	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	生体における知識を身に着け、自然環境や生態系への理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生体の構造 1
	2	生体の構造 2
	3	生体内の代謝 1
	4	生体内の代謝 2
	5	生殖と発生
	6	遺伝と変異
	7	刺激の受容と反応
	8	内部環境の恒常性と調節
	9	からだの防衛反応
	10	生物の集団・生物の進化と系統
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅰ 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	文法などの国語分野の基礎的な知識と文章読解力の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握1、文法1、四字熟語1、ことわざ1、文学史1
	2	要旨把握2、文法2、四字熟語2、ことわざ2、文学史2
	3	内容合致1、文法3、四字熟語3、ことわざ3、文学史3
	4	内容合致2、文法4、四字熟語4、ことわざ4、文学史4
	5	文章整序1、文法5、四字熟語5、ことわざ5、文学史5
	6	空欄補充2、文法6、四字熟語6、ことわざ6、文学史6
	7	空欄補充1、文法7、四字熟語7、ことわざ7、文学史7
	8	空欄補充2、文法8、四字熟語8、ことわざ8、文学史8
	9	文章理解・国語演習
	10	文章理解・国語演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	総合教養演習Ⅰ 基礎教養			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	1年次			
開講区分	前期			
科目区分	必修			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・政治・文章理解の知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	一般教養力検定2級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる			
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験			
特記				
授業計画	1	出題科目の分野別学習 1	16	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 3
	2	出題科目の分野別学習 2	17	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	出題科目の分野別学習 3	18	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	出題科目の分野別学習 4	19	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 4
	5	出題科目の分野別学習 5	20	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	出題科目の分野別学習 6	21	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	出題科目の分野別学習 7	22	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 5
	8	出題科目の分野別学習 8	23	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	出題科目の分野別学習 9	24	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 1	25	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 6
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	26	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	27	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 2	28	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 7
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	29	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	30	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	総合教養演習Ⅱ 実践教養			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	必修			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・判断推理・空間把握・文章理解・政治・経済・社会の知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	一般教養力検定1級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる			
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験			
特記				
授業計画	1	出題科目の分野別学習 1	16	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 3
	2	出題科目の分野別学習 2	17	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	出題科目の分野別学習 3	18	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	出題科目の分野別学習 4	19	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 4
	5	出題科目の分野別学習 5	20	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	出題科目の分野別学習 6	21	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	出題科目の分野別学習 7	22	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 5
	8	出題科目の分野別学習 8	23	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	出題科目の分野別学習 9	24	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 1	25	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 6
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	26	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	27	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 2	28	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 7
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	29	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	30	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務 I	
実務家教員	○	
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業回数	8回（8回目は60分）	
授業概要	実務経験者の講義を受け、研究および発表を通じて地方行政の取り組みを学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	地方行政に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、グループワークを通じて組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	実務家教員・・・公官庁で公務員として勤務されている方 （授業との関連性） 現役公務員の方を招聘し、職種理解や職業理解を深める授業を展開する。	
授業計画	1	地方行政の仕組みと仕事内容（講義）
	2	諸問題に対する地方自治体の取り組み（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	研究発表準備
	6	研究発表（プレゼンテーション）
	7	地方公務員に求められる資質（講義）
	8	職業実務演習（60分）
成績評価方法 （試験実施方法）	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を基に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	1項目15分程度で、重要ワードを軸にその内容を解説し、問題演習を行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事（政治分野1）
	2	時事（政治分野2）
	3	時事（政治分野3）
	4	時事（経済分野1）
	5	時事（経済分野2）
	6	時事（文化1）
	7	時事（文化2）
	8	時事（文化3）
	9	時事（科学1）
	10	時事（科学2）
	11	時事（科学3）
	12	時事（科学4）
	13	時事（科学5）
	14	時事（国際問題1）
	15	時事（国際問題2）
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策演習	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査練習 1
	2	適性検査練習 2
	3	適性検査練習 3
	4	適性検査練習 4
	5	適性検査練習 5
	6	適性検査練習 6
	7	適性検査練習 7
	8	適性検査練習 8
	9	適性検査練習 9
	10	適性検査練習10
	11	適性検査練習11
	12	適性検査練習12
	13	適性検査練習13
	14	適性検査練習14
	15	適性検査練習15
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	経理実務 I			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修 B			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	30時間			
授業回数	15回			
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するための講義			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールと業務内容の理解ができる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム	16	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②
	2	小切手・手形の実務上のポイント	17	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③
	3	入出金伝票と現金出納帳	18	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①
	4	当座預金出納帳と手形記入帳	19	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分	20	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①	21	個人住民税の徴収及び納付①
	7	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②	22	個人住民税の徴収及び納付②
	8	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③	23	印紙税の基礎知識
	9	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④	24	受取利息の会計処理
	10	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤	25	消費税法の概要①
	11	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥	26	消費税法の概要②
	12	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①	27	消費税の会計処理
	13	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②	28	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①
	14	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③	29	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②
	15	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税額を算定し、年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	所得税の基礎知識①
	2	所得税の基礎知識②
	3	所得税の基礎知識③
	4	年末調整のしかた①
	5	年末調整のしかた②
	6	年末調整のしかた③
	7	法定調書の流れ①
	8	法定調書の流れ②
	9	法定調書の流れ③
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	13	労働保険の概要及び会計処理①
	14	労働保険の概要及び会計処理②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	マーケティング概論			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修C			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する			
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト			
特記				
授業計画	1	マーケティングと顧客満足	16	店舗実習事前研究①
	2	マーケティング分析方法①	17	店舗実習事前研究②
	3	マーケティング分析方法②	18	店舗実習事前指導
	4	マーケティングと財務知識①	19	店舗実習①
	5	マーケティングと財務知識②	20	店舗実習②
	6	マーケティングと財務知識③	21	店舗実習③
	7	マーケティングと財務知識④	22	店舗実習④
	8	マーケティング手法①	23	店舗実習⑤
	9	マーケティング手法②	24	店舗実習⑥
	10	確認テスト	25	店舗実習振り返り
	11	事例から学ぶマーケティング①	26	マーケティング演習①
	12	事例から学ぶマーケティング②	27	マーケティング演習②
	13	事例から学ぶマーケティング③	28	マーケティング演習③
	14	事例から学ぶマーケティング④	29	マーケティング演習④
	15	事例から学ぶマーケティング⑤	30	マーケティング演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度を総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング基礎	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修C	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	店舗データの理解
	2	マーケティングの流れ
	3	売上構成分析
	4	来店客分析
	5	商品分析
	6	費用分析
	7	課題抽出
	8	アンケート調査分析
	9	企画作成①
	10	企画作成②
	11	企画作成③
	12	企画作成④
	13	様々なマーケティング①
	14	様々なマーケティング②
	15	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度を総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度を総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅰ 地理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形（山地と平野）
	2	世界の地形（様々な地形）
	3	世界の気候（熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯）
	4	世界の気候（温帯）
	5	地理演習
	6	世界の農業（アジア、ヨーロッパ）
	7	世界の農業（アメリカ、オセアニア）
	8	世界の資源
	9	世界の工業
	10	地理演習
	11	世界地誌（アジア、アフリカ）
	12	世界地誌（ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア）
	13	生活と地域
	14	日本地誌
	15	地理演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅱ 日本史	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	大和政権と大化の改新
	2	平安時代
	3	平安時代の文化
	4	鎌倉時代
	5	室町時代
	6	鎌倉時代と室町時代の文化
	7	封建社会の確立
	8	江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革）
	9	江戸時代（幕末）
	10	明治維新
	11	立憲体制の確立
	12	近代文化の発展
	13	大正時代
	14	昭和時代
	15	日本史演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅲ 世界史	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な近隣国および近代歴史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	四大文明、オリエント世界の動向、殷、周、秦、漢
	2	魏晉南北朝、隋、唐
	3	宋、元
	4	明、清
	5	清の崩壊
	6	ヴェルサイユ体制
	7	第二次世界大戦
	8	第二次世界大戦後の世界
	9	中世ヨーロッパ、ルネサンス、大航海時代、宗教改革
	10	絶対主義
	11	イギリス市民革命、アメリカ独立革命
	12	フランス革命
	13	ウィーン体制
	14	19世紀のヨーロッパ
	15	第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅱ 地学	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	地球を中心とした、自然環境を理解し知識を広げる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	地球の姿と動く大地
	2	地震
	3	岩石
	4	大気と海洋
	5	気象現象、日本の四季
	6	太陽系と宇宙の構造
	7	太陽系と惑星
	8	恒星の世界
	9	地学演習
	10	地学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅲ 物理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	電気や力学など物理分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力 1
	3	力 2、運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動
	7	電気
	8	電気と磁力、原子
	9	物理演習
	10	物理演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅳ 化学	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	原子や化学反応など化学分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	化学反応現象を、反応式で捉えられるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	物質の構造 1
	2	物質の構造 2
	3	物質の状態
	4	物質の変化 1
	5	物質の変化 2
	6	物質の変化 3、有機化合物
	7	無機化合物 1
	8	無機化合物 2
	9	化学演習
	10	化学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅰ 数的処理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト・スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	論理、集合の要素
	2	順序
	3	対応
	4	位置と方位
	5	勝ち負け、カード・ゲーム
	6	ウソの発言、推理・手順
	7	折り紙、回転の軌跡
	8	正多面体・展開図
	9	平面図形の構成、サイコロ
	10	見取図と投影図・積木
	11	立体の切断・回転体、一筆書き
	12	平面図形の計量①
	13	平面図形の計量②
	14	立体図形の計量
	15	方程式・不等式
	16	整数・計算、パズル
	17	割合と比
	18	速さ
	19	仕事算
	20	場合の数、確率
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅱ 社会科学	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公務に必要な社会科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	政治の基本理念、政治制度論
	2	基本的人権①
	3	基本的人権②
	4	基本的人権③
	5	国会の機構と運営
	6	内閣の機構と運営
	7	裁判所の機構と運営
	8	地方自治、選挙制度
	9	現代の企業、現代の市場
	10	国民所得
	11	通貨制度と金融政策
	12	通貨制度と金融政策
	13	財政制度と財政政策
	14	貿易と外国為替
	15	国際経済の動向
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	地理・歴史の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な人文科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	平安時代・鎌倉時代・室町時代
	2	江戸時代
	3	明治時代・大正時代
	4	現代
	5	通史
	6	世界の地形・世界の気候
	7	世界の農業
	8	世界の工業・資源
	9	日本地誌
	10	世界地誌
	11	東洋史（前半）
	12	東洋史（後半）
	13	第二次世界大戦と戦後世界
	14	中世ヨーロッパから近世ヨーロッパ
	15	近代ヨーロッパと第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生体の構造、生体内の代謝
	2	生体内の代謝
	3	生体内の代謝、生殖と発生、遺伝と変異
	4	遺伝と変異、刺激の受容と反応
	5	刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調整
	6	内部環境の恒常性と調整、生物の集団、生物の進化と系統
	7	地球の姿と動く大地
	8	岩石、大気と海洋
	9	大気と海洋、太陽系と宇宙の構造
	10	太陽系と宇宙の構造、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	基礎演習Ⅴ 知能系科目総合			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択 A			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	問題演習を通じて数的推理・判断推理の総復習を行う			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う			
達成目標	数的推理・判断推理分野の基礎知識を定着させる			
教科書	配布プリント・資料			
特記				
授業計画	1	数的推理の基礎知識の復習（方程式）	16	判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数）
	2	数的推理の基礎知識の復習（不等式）	17	判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数）
	3	数的推理の基礎知識の復習（整数）	18	判断推理の基礎知識の復習（順序）
	4	数的推理の基礎知識の復習（整数）	19	判断推理の基礎知識の復習（順序）
	5	数的推理の基礎知識の復習（計算パズル）	20	判断推理の基礎知識の復習（対応）
	6	数的推理の基礎知識の復習（比）	21	判断推理の基礎知識の復習（対応）
	7	数的推理の基礎知識の復習（比）	22	判断推理の基礎知識の復習（位置と方位）
	8	数的推理の基礎知識の復習（速さ）	23	判断推理の基礎知識の復習（位置と方位）
	9	数的推理の基礎知識の復習（速さ）	24	判断推理の基礎知識の復習（勝ち負け）
	10	数的推理の基礎知識の復習（仕事算）	25	判断推理の基礎知識の復習（カード・ゲーム）
	11	数的推理の基礎知識の復習（場合の数）	26	判断推理の基礎知識の復習（推理・手順）
	12	数的推理の基礎知識の復習（場合の数）	27	判断推理の基礎知識の復習（暗号）
	13	数的推理の基礎知識の復習（確率）	28	判断推理の基礎知識の復習（家系図）
	14	数的推理の基礎知識の復習（確率）	29	数的推理 総まとめ試験
	15	判断推理の基礎知識の復習（論理）	30	判断推理 総まとめ試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	基礎演習Ⅵ 知識系科目総合			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	問題演習を通じて知識系科目全体の総復習を行う			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う			
達成目標	公務に必要な一般教養の幅広い知識を定着させる			
教科書	スタンダード問題集・配布プリント・資料			
特記				
授業計画	1	社会の知識の総復習（社会理論・労働問題）	16	政治の基礎知識の復習（選挙制度）
	2	社会の知識の総復習（社会保障・労働問題）	17	経済 第1回まとめ試験
	3	社会の知識の総復習（国際関係）	18	経済の基礎知識の復習（現代の企業）
	4	政治 第1回まとめ試験	19	経済の基礎知識の復習（市場）
	5	政治の基礎知識の復習（国家）	20	経済の基礎知識の復習（国民所得）
	6	政治の基礎知識の復習（政治制度）	21	経済 第2回まとめ試験
	7	政治 第2回まとめ試験	22	経済の基礎知識の復習（金融政策）
	8	政治の基礎知識の復習（基本的人権）	23	経済の基礎知識の復習（財政政策）
	9	政治の基礎知識の復習（基本的人権）	24	経済の基礎知識の復習（日本経済の動向）
	10	政治 第3回まとめ試験	25	経済 第3回まとめ試験
	11	政治の基礎知識の復習（統治機構）	26	経済の基礎知識の復習（貿易と外国為替）
	12	政治の基礎知識の復習（統治機構）	27	経済の基礎知識の復習（国際経済の動向）
	13	政治の基礎知識の復習（地方自治）	28	経済の基礎知識の復習（国際経済の動向）
	14	政治 第4回まとめ試験	29	政治 総まとめ試験
	15	政治の基礎知識の復習（選挙制度）	30	経済 総まとめ試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員模擬受験	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	模擬公務員試験を実施し実際の公務員試験の流れを把握する	
授業の進め方	履歴書作成、E S 作成を行い、模擬公務員試験を実施する	
達成目標	模擬公務員試験の合格を目指す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	模擬受験（受験先確定）
	2	模擬受験（履歴書作成）
	3	模擬受験（E S 作成）
	4	模擬受験（E S 作成）
	5	模擬受験一次試験
	6	模擬受験一次試験
	7	模擬受験 面接練習
	8	模擬受験 面接練習
	9	模擬受験二次試験
	10	模擬受験二次試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬公務員試験の成績や授業への参加姿勢で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎答案練習	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	本試験形式の 1 次試験から 2 次試験までを体験する	
授業の進め方	教養模擬試験および作文・適性・面接試験を実施する	
達成目標	第6講目の模擬試験で合格ラインに達する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験 1
	2	基礎的なレベルの模擬試験 1 の復習
	3	基礎的なレベルの模擬試験 2
	4	基礎的なレベルの模擬試験 2 の復習
	5	模擬受験（教養試験）
	6	模擬受験（作文/ES・適性試験）
	7	基礎的なレベルの模擬試験 3
	8	基礎的なレベルの模擬試験 3 の復習
	9	基礎的なレベルの模擬試験 4
	10	基礎的なレベルの模擬試験 4 の復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策講義	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査パターン 1、パターン 2 の解答方法及び練習
	2	適性検査パターン 3、パターン 4 の解答方法及び練習
	3	適性検査パターン 5、パターン 6 の解答方法及び練習
	4	適性検査練習 1
	5	適性検査練習 2
	6	適性検査練習 3
	7	適性検査練習 4
	8	適性検査練習 5
	9	適性検査練習 6
	10	適性検査練習 7
	11	適性検査練習8
	12	適性検査練習 9
	13	適性検査練習10
	14	適性検査練習11
	15	適性検査練習 1 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業回数	8回	
授業概要	警察署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（警察官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	警察官の仕事内容
	2	警察官の組織
	3	警察学校の生活
	4	警察官に求められる資質
	5	研究レポートの作成1
	6	研究レポートの作成2
	7	研究レポートの作成3
	8	レポートの検証（60分）
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	職種別の業務内容、試験内容に関する講義
	2	受験手続に関する講義
	3	職種別ガイダンス 1
	4	職種別ガイダンス 2
	5	職種別ガイダンス 3
	6	日程別受験先選択の為の講義
	7	職種別ガイダンス 4
	8	職種別ガイダンス 5
	9	職種別ガイダンス 6
	10	職種別ガイダンス 7
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度などによって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数学 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	基本的な数学計算の能力を身に着け、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	数と式、二次方程式を中心に、基礎的な知識と計算技術を身に着ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数と式
	2	方程式
	3	関数
	4	微分積分
	5	式と図形、不等式と領域
	6	指数、対数
	7	三角関数、ベクトル
	8	数と体系
	9	数学演習
	10	数学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅱ 英語	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	文法や熟語など英語分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務で求められる基礎的な英語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	文の種類
	2	be動詞・動詞、熟語
	3	現在時制・過去時制
	4	未来表現
	5	完了形
	6	助動詞
	7	受動態
	8	不定詞
	9	動名詞
	10	関係詞
	11	仮定法
	12	接続詞
	13	話法、否定
	14	強調・倒置・省略
	15	前置詞・名詞・代名詞・冠詞
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学総合	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論
	2	功利主義、プラグマティズム、実存主義
	3	日本の思想家、諸子百家
	4	西洋美術、西洋文学、西洋音楽、西洋建築
	5	江戸時代までの日本文学、明治時代以降の日本文学
	6	人文科学演習
	7	人文科学演習
	8	人文科学演習
	9	人文科学演習
	10	人文科学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学総合	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	理数系科目の基礎を幅広く総合的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生物（生体の構造、生体内の代謝、生殖と発生）
	2	生物（遺伝と変異、刺激の需要と反応）
	3	生物（内部環境の恒常性と調節、からだの防衛反応）
	4	地学（気象現象、日本の四季）
	5	地学（太陽系と宇宙の構造、太陽系と惑星）
	6	物理（力 1、力 2、運動方程式）
	7	物理（電気、電気と磁力）
	8	化学（物質の構造、物質の状態）
	9	化学（物質の変化）
	10	自然科学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	論理、集合の要素の個数
	2	順序
	3	対応
	4	位置と方位
	5	折り紙、回転の軌跡
	6	正多面体・展開図
	7	平面図形の構成、サイコロ
	8	方程式・不等式、整数・計算パズル
	9	割合と比
	10	資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	勝ち負け、カード・ゲーム
	2	ウソの発言、推理・手順、暗号
	3	見取り図と投影図、積木
	4	立体の切断・回転体、一筆書き
	5	平面図形の軽量
	6	立体図形の軽量
	7	速さ
	8	仕事算
	9	場合の数、確率
	10	資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目総合 I	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	社会科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	政治 基本理念、政治制度
	2	政治 基本的人権
	3	政治 国会と内閣と裁判所の機構と運営
	4	政治 地方自治制度、選挙制度
	5	経済 現代の企業と市場
	6	経済 国民所得と通貨制度
	7	経済 金融政策と財政政策
	8	経済 貿易と国際経済の動向
	9	社会 労働問題と社会保障
	10	社会 環境問題と国際関係
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	日本史 古代～中世
	2	日本史 近世～近代
	3	日本史 現代
	4	世界史 東洋史
	5	世界史 第二次世界大戦
	6	世界史 近代ヨーロッパ～第一次世界大戦
	7	地理 世界の地形・気候
	8	地理 世界の工業・資源
	9	地理 日本地誌
	10	地理 世界地誌
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	数的分野全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1
	2	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 2
	3	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 3
	4	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 4
	5	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 5
	6	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 6
	7	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 7
	8	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 8
	9	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 9
	10	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策10
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	知識系科目全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 1
	2	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 2
	3	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 3
	4	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 4
	5	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 5
	6	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 6
	7	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 7
	8	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 8
	9	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策 9
	10	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策10
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	総合答案練習 I		
実務家教員			
学部・学科	公務員学科(2年制)		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択 A		
授業方法	演習		
授業時間	150時間		
授業回数	75回		
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ		
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う		
達成目標	身についての知識をもと本番形式の問題が解答できる。		
教科書	模擬試験		
特記			
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①	40 一部応用レベルの問題も含む模擬試験②
	2・3	模擬試験の解説（知識系・知能系）	41・42 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	4	基礎的なレベルの模擬試験②	43 一部応用レベルの問題も含む模擬試験③
	5・6	模擬試験の解説（知識系・知能系）	44・45 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	7	基礎的なレベルの模擬試験③	46 一部応用レベルの問題も含む模擬試験④
	8・9	模擬試験の解説（知識系・知能系）	47・48 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	10	基礎的なレベルの模擬試験④	49 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑤
	11・12	模擬試験の解説（知識系・知能系）	50・51 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	13	基礎的なレベルの模擬試験⑤	52 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑥
	14・15	模擬試験の解説（知識系・知能系）	53・54 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	16	基礎的なレベルの模擬試験⑥	55 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑦
	17・18	模擬試験の解説（知識系・知能系）	56・57 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	19	基礎的なレベルの模擬試験⑦	58 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑧
	20・21	模擬試験の解説（知識系・知能系）	59・60 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	22	基礎的なレベルの模擬試験⑧	61 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑨
	23・24	模擬試験の解説（知識系・知能系）	62・63 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	25	基礎的なレベルの模擬試験⑨	64 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑩
	26・27	模擬試験の解説（知識系・知能系）	65・66 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	28	基礎的なレベルの模擬試験⑩	67 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑪
	29・30	模擬試験の解説（知識系・知能系）	68・69 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	31	基礎的なレベルの模擬試験⑪	70 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑫
	32・33	模擬試験の解説（知識系・知能系）	71・72 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	34	基礎的なレベルの模擬試験⑫	73 一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑬
	35・36	模擬試験の解説（知識系・知能系）	74・75 模擬試験の解説（知識系・知能系）
	37	一部応用レベルの問題も含む模擬試験①	
	38・39	模擬試験の解説（知識系・知能系）	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習 I			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択 A			
授業方法	演習			
授業時間	180時間			
授業回数	90回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験 1	46	地方公務員タイプの模擬試験 3
	2・3	模擬試験の解説（知能系・知識系）	47・48	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	4	国家公務員タイプの模擬試験 2	49	地方公務員タイプの模擬試験 4
	5・6	模擬試験の解説（知能系・知識系）	50・51	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	7	国家公務員タイプの模擬試験 3	52	地方公務員タイプの模擬試験 5
	8・9	模擬試験の解説（知能系・知識系）	53・54	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	10	国家公務員タイプの模擬試験 4	55	地方公務員タイプの模擬試験 6
	11・12	模擬試験の解説（知能系・知識系）	56・57	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	13	国家公務員タイプの模擬試験 5	58	地方公務員タイプの模擬試験 7
	14・15	模擬試験の解説（知能系・知識系）	59・60	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	16	国家公務員タイプの模擬試験 6	61	地方公務員タイプの模擬試験 8
	17・18	模擬試験の解説（知能系・知識系）	62・63	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	19	国家公務員タイプの模擬試験 7	64	地方公務員タイプの模擬試験 9
	20・21	模擬試験の解説（知能系・知識系）	65・66	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	22	国家公務員タイプの模擬試験 8	67	地方公務員タイプの模擬試験10
	23・24	模擬試験の解説（知能系・知識系）	68・69	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	25	国家公務員タイプの模擬試験 9	70	地方公務員タイプの模擬試験11
	26・27	模擬試験の解説（知能系・知識系）	71・72	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	28	国家公務員タイプの模擬試験10	73	地方公務員タイプの模擬試験12
	29・30	模擬試験の解説（知能系・知識系）	74・75	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	31	国家公務員タイプの模擬試験11	76	地方公務員タイプの模擬試験13
	32・33	模擬試験の解説（知能系・知識系）	77・78	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	34	国家公務員タイプの模擬試験12	79	地方公務員タイプの模擬試験14
	35・36	模擬試験の解説（知能系・知識系）	80・81	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	37	国家公務員タイプの模擬試験13	82	地方公務員タイプの模擬試験15
	38・39	模擬試験の解説（知能系・知識系）	83・84	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	40	地方公務員タイプの模擬試験 1	85	地方公務員タイプの模擬試験16
	41・42	模擬試験の解説（知能系・知識系）	86・87	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	43	地方公務員タイプの模擬試験 2	88	地方公務員タイプの模擬試験17
	44・45	模擬試験の解説（知能系・知識系）	89・90	模擬試験の解説（知能系・知識系）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験 1	31	地方公務員タイプの模擬試験11
	2・3	模擬試験の解説（知能系・知識系）	32・33	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2	34	地方公務員タイプの模擬試験12
	5・6	模擬試験の解説（知能系・知識系）	35・36	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	7	地方公務員タイプの模擬試験 3	37	地方公務員タイプの模擬試験13
	8・9	模擬試験の解説（知能系・知識系）	38・39	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4	40	地方公務員タイプの模擬試験14
	11・12	模擬試験の解説（知能系・知識系）	41・42	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	13	地方公務員タイプの模擬試験 5	43	地方公務員タイプの模擬試験15
	14・15	模擬試験の解説（知能系・知識系）	44・45	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	16	地方公務員タイプの模擬試験 6	46	地方公務員タイプの模擬試験16
	17・18	模擬試験の解説（知能系・知識系）	47・48	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	19	地方公務員タイプの模擬試験 7	49	地方公務員タイプの模擬試験17
	20・21	模擬試験の解説（知能系・知識系）	50・51	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	22	地方公務員タイプの模擬試験 8	52	地方公務員タイプの模擬試験18
	23・24	模擬試験の解説（知能系・知識系）	53・54	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	25	地方公務員タイプの模擬試験 9	55	地方公務員タイプの模擬試験19
	26・27	模擬試験の解説（知能系・知識系）	56・57	模擬試験の解説（知能系・知識系）
	28	地方公務員タイプの模擬試験10	58	地方公務員タイプの模擬試験20
	29・30	模擬試験の解説（知能系・知識系）	59・60	模擬試験の解説（知能系・知識系）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験 1
	2	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2
	5	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	地方公務員タイプの模擬試験 3
	8	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	地方公務員タイプの模擬試験 5
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	公務員時事研究			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択 A			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する			
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる			
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	情報収集と考察 テーマ 1	16	情報収集と考察 テーマ 1 6
	2	情報収集と考察 テーマ 2	17	情報収集と考察 テーマ 1 7
	3	情報収集と考察 テーマ 3	18	情報収集と考察 テーマ 1 8
	4	情報収集と考察 テーマ 4	19	情報収集と考察 テーマ 1 9
	5	情報収集と考察 テーマ 5	20	情報収集と考察 テーマ 2 0
	6	情報収集と考察 テーマ 6	21	情報収集と考察 テーマ 2 1
	7	情報収集と考察 テーマ 7	22	情報収集と考察 テーマ 2 2
	8	情報収集と考察 テーマ 8	23	情報収集と考察 テーマ 2 3
	9	情報収集と考察 テーマ 9	24	情報収集と考察 テーマ 2 4
	10	情報収集と考察 テーマ 1 0	25	情報収集と考察 テーマ 2 5
	11	情報収集と考察 テーマ 1 1	26	情報収集と考察 テーマ 2 6
	12	情報収集と考察 テーマ 1 2	27	情報収集と考察 テーマ 2 7
	13	情報収集と考察 テーマ 1 3	28	情報収集と考察 テーマ 2 8
	14	情報収集と考察 テーマ 1 4	29	情報収集と考察 テーマ 2 9
	15	情報収集と考察 テーマ 1 5	30	情報収集と考察 テーマ 3 0
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員春試験	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	受験職種研究 1（職種①）
	2	受験職種研究 2（職種①）
	3	受験職種研究 3（職種①）
	4	模擬個人面接 1（職種①）
	5	模擬個人面接 2（職種①）
	6	模擬個人面接 3（職種①）
	7	受験職種研究 4（職種②）
	8	受験職種研究 5（職種②）
	9	受験職種研究 6（職種②）
	10	模擬個人面接 4（職種②）
	11	模擬個人面接 5（職種②）
	12	模擬個人面接 6（職種②）
	13	受験職種研究 7（職種③）
	14	模擬個人面接 7（職種③）
	15	模擬個人面接 8（職種③）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員秋試験			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習			
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する			
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	受験職種研究 1（職種①）	31	受験職種研究 1 6（職種⑥）
	2	受験職種研究 2（職種①）	32	受験職種研究 1 7（職種⑥）
	3	受験職種研究 3（職種①）	33	受験職種研究 1 8（職種⑤）
	4	模擬個人面接 1（職種①）	34	模擬個人面接 1 6（職種⑤）
	5	模擬個人面接 2（職種①）	35	模擬個人面接 1 7（職種⑤）
	6	模擬個人面接 3（職種①）	36	模擬個人面接 1 8（職種⑤）
	7	受験職種研究 4（職種②）	37	受験職種研究 1 9（職種⑦）
	8	受験職種研究 5（職種②）	38	受験職種研究 2 0（職種⑦）
	9	受験職種研究 6（職種②）	39	受験職種研究 2 1（職種⑦）
	10	模擬個人面接 4（職種②）	40	模擬個人面接 1 9（職種⑦）
	11	模擬個人面接 5（職種②）	41	模擬個人面接 2 0（職種⑦）
	12	模擬個人面接 6（職種②）	42	模擬個人面接 2 1（職種⑦）
	13	受験職種研究 7（職種③）	43	受験職種研究 2 2（職種⑧）
	14	受験職種研究 8（職種③）	44	受験職種研究 2 3（職種⑧）
	15	受験職種研究 9（職種③）	45	受験職種研究 2 4（職種⑧）
	16	模擬個人面接 7（職種③）	46	模擬個人面接 2 2（職種⑧）
	17	模擬個人面接 8（職種③）	47	模擬個人面接 2 3（職種⑧）
	18	模擬個人面接 9（職種③）	48	模擬個人面接 2 4（職種⑧）
	19	受験職種研究 1 0（職種④）	49	受験職種研究 2 5（職種⑨）
	20	受験職種研究 1 1（職種④）	50	受験職種研究 2 6（職種⑨）
	21	受験職種研究 1 2（職種④）	51	受験職種研究 2 7（職種⑨）
	22	模擬個人面接 1 0（職種④）	52	模擬個人面接 2 5（職種⑨）
	23	模擬個人面接 1 1（職種④）	53	模擬個人面接 2 6（職種⑨）
	24	模擬個人面接 1 2（職種④）	54	模擬個人面接 2 7（職種⑨）
	25	受験職種研究 1 3（職種⑤）	55	受験職種研究 2 8（職種⑩）
	26	受験職種研究 1 4（職種⑤）	56	受験職種研究 2 9（職種⑩）
	27	受験職種研究 1 5（職種⑤）	57	受験職種研究 3 0（職種⑩）
	28	模擬個人面接 1 3（職種⑤）	58	模擬個人面接 2 8（職種⑩）
	29	模擬個人面接 1 4（職種⑤）	59	模擬個人面接 2 9（職種⑩）
	30	模擬個人面接 1 5（職種⑤）	60	模擬個人面接 3 0（職種⑩）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験パターン1の解答方法
	2	適性試験パターン1の練習
	3	適性試験パターン2の解答方法
	4	適性試験パターン2の練習
	5	適性試験パターン3の解答方法
	6	適性試験パターン3の練習
	7	適性試験練習1
	8	適性試験練習2
	9	適性試験練習3
	10	適性試験練習4
	11	適性試験練習5
	12	適性試験練習6
	13	適性試験練習7
	14	適性試験練習8
	15	適性試験練習9
	16	適性試験練習10
	17	適性試験練習11
	18	適性試験練習12
	19	適性試験練習13
	20	適性試験練習14
	21	模擬試験（適性試験）1
	22	模擬試験（適性試験）2
	23	模擬試験（適性試験）3
	24	模擬試験（適性試験）4
	25	模擬試験（適性試験）5
	26	模擬試験（適性試験）6
	27	模擬試験（適性試験）7
	28	模擬試験（適性試験）8
	29	模擬試験（適性試験）9
	30	模擬試験（適性試験）10
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験パターン1の解答方法
	2	適性試験パターン1の練習
	3	適性試験パターン2の解答方法
	4	適性試験パターン2の練習
	5	適性試験パターン3の解答方法
	6	適性試験パターン3の練習
	7	適性試験練習1
	8	適性試験練習2
	9	適性試験練習3
	10	適性試験練習4
	11	適性試験練習5
	12	適性試験練習6
	13	模擬試験（適性試験）1
	14	模擬試験（適性試験）2
	15	模擬試験（適性試験）3
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心として総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員教養論作文対策	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	公務員初級試験を見据えての文章作成スキルの習得	
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う	
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論作文の書き方と正しい用紙の使い方
	2	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 1
	3	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 2
	4	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 3
	5	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 4
	6	作文練習 1
	7	作文練習 2
	8	作文練習 3
	9	作文練習 4
	10	作文練習 5
	11	作文練習 6
	12	作文練習 7
	13	作文練習 8
	14	作文練習 9
	15	作文練習10
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員倫理	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業回数	8回（8回目は60分）	
授業概要	公務人材開発協会より講師をお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ	
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する	
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	税制の理解①
	2	税制の理解②
	3	税制に関するレポート作成
	4	公務員の倫理と服務規程①
	5	公務員の倫理と服務規程②
	6	公務員の倫理と服務規程③
	7	服務規定に関するレポート作成
	8	レポートの検証（60分）
成績評価方法 (試験実施方法)	提出レポートの完成度によって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業回数	8回（8回目は60分）	
授業概要	官公庁(国家省庁等)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う。	
授業の進め方	実務経験者（国家省庁等）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	官庁訪問の仕組み
	2	省庁の仕事内容
	3	官公庁講義 1
	4	官公庁講義 2
	5	官公庁講義 3
	6	研究レポートの作成
	7	研究レポートの作成
	8	レポートの検証（60分）
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	選択 A	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業回数	8回（8回目は60分）	
授業概要	実務経験の豊富な講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防官職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（消防官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	消防官の仕事内容
	2	実務者講義 1（消防官に求められる資質）
	3	研究レポート（消防官に求められる資質）
	4	実務者講義 2（自助・共助・公助）
	5	研究レポート（自助・共助・公助）
	6	実務者講義 3（消防と我が人生）
	7	研究レポート（消防と我が人生）
	8	レポートの検証（60分）
成績評価方法 （試験実施方法）	研究レポートの完成度によって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律研究	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する	
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	法律概論
	2	民法①（講義）
	3	民法課題研究
	4	民法②（講義）
	5	民法課題研究
	6	憲法①（講義）
	7	憲法②（講義）
	8	憲法課題研究
	9	行政法①（講義）
	10	行政法②（講義）
	11	行政法課題研究
	12	刑法①（講義）
	13	刑法課題研究
	14	刑法②（講義）
	15	刑法課題研究
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果をまとめたレポートの内容で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究・発表を通じて防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	災害の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	災害対策の枠組み（講義）
	2	災害対策の実例（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	課題研究 3
	6	課題研究 4
	7	課題研究 5
	8	課題研究 6
	9	研究発表シナリオ作成 1
	10	研究発表シナリオ作成 2
	11	研究発表準備 1
	12	研究発表準備 2
	13	研究発表プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	プレゼンテーションのフィードバック講義
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を基に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	時事	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択 B	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義により、興味を持って情報収集し自身の意見に反映させる	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解し、時事に関する情報収集を行い、考えや意見を伝えることができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事用語確認①
	2	時事用語確認②
	3	時事用語確認③
	4	時事用語確認④
	5	時事用語確認⑤
	6	時事用語確認⑥
	7	時事用語確認⑦
	8	時事用語確認⑧
	9	時事用語確認⑨
	10	時事用語確認⑩
	11	時事用語確認⑪
	12	時事用語確認⑫
	13	時事用語確認⑬
	14	時事用語確認⑭
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	I T リテラシ			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択 B			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身につける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	コンピュータシステムの構成①	31	直前答案練習①
	2	コンピュータシステムの構成②	32	直前答案練習②
	3	コンピュータシステムの構成③	33	直前答案練習③
	4	ネットワークテクノロジー①	34	直前答案練習④
	5	ネットワークテクノロジー②	35	直前答案練習⑤
	6	ネットワークテクノロジー③	36	直前答案練習⑥
	7	ネットワークの構築と運用①	37	直前答案練習⑦
	8	ネットワークの構築と運用②	38	直前答案練習⑧
	9	ネットワークの構築と運用③	39	直前答案練習⑨
	10	ネットワークの構築と運用④	40	直前答案練習⑩
	11	情報セキュリティ①	41	直前答案練習⑪
	12	情報セキュリティ②	42	直前答案練習⑫
	13	情報セキュリティ③	43	直前答案練習⑬
	14	情報セキュリティ④	44	直前答案練習⑭
	15	情報セキュリティ⑤	45	直前答案練習⑮
	16	項目別問題演習①		
	17	項目別問題演習②		
	18	項目別問題演習③		
	19	項目別問題演習④		
	20	項目別問題演習⑤		
	21	項目別問題演習⑥		
	22	項目別問題演習⑦		
	23	項目別問題演習⑧		
	24	項目別問題演習⑨		
	25	項目別問題演習⑩		
	26	項目別問題演習⑪		
	27	項目別問題演習⑫		
	28	項目別問題演習⑬		
	29	項目別問題演習⑭		
	30	項目別問題演習⑮		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点を中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP基礎			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択B			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	F P 3 級の基礎を理解し、日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①	31	タックスプランニング①
	2	ライフプランニングと資金計画②	32	タックスプランニング②
	3	ライフプランニングと資金計画③	33	タックスプランニング③
	4	ライフプランニングと資金計画④	34	タックスプランニング④
	5	ライフプランニングと資金計画⑤	35	タックスプランニング⑤
	6	ライフプランニングと資金計画⑥	36	タックスプランニング⑥
	7	ライフプランニングと資金計画⑦	37	タックスプランニング⑦
	8	ライフプランニングと資金計画⑧	38	タックスプランニング⑧
	9	ライフプランニングと資金計画⑨	39	タックスプランニング⑨
	10	ライフプランニングと資金計画⑩	40	タックスプランニング⑩
	11	ライフプランニングと資金計画⑪	41	タックスプランニング⑪
	12	ライフプランニングと資金計画⑫	42	タックスプランニング⑫
	13	リスク管理①	43	不動産①
	14	リスク管理②	44	不動産②
	15	リスク管理③	45	不動産③
	16	リスク管理④	46	不動産④
	17	リスク管理⑤	47	不動産⑤
	18	リスク管理⑥	48	不動産⑥
	19	リスク管理⑦	49	不動産⑦
	20	リスク管理⑧	50	不動産⑧
	21	リスク管理⑨	51	不動産⑨
	22	金融資産運用①	52	相続・事業承継①
	23	金融資産運用②	53	相続・事業承継②
	24	金融資産運用③	54	相続・事業承継③
	25	金融資産運用④	55	相続・事業承継④
	26	金融資産運用⑤	56	相続・事業承継⑤
	27	金融資産運用⑥	57	相続・事業承継⑥
	28	金融資産運用⑦	58	相続・事業承継⑦
	29	金融資産運用⑧	59	相続・事業承継⑧
	30	金融資産運用⑨	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP応用			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択 B			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、知識定着を図る			
達成目標	問題演習により F P 3 級の基礎知識を定着させる			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画問題演習①	16	タックスプランニング問題演習②
	2	ライフプランニングと資金計画問題演習②	17	タックスプランニング問題演習③
	3	ライフプランニングと資金計画問題演習③	18	タックスプランニング問題演習④
	4	ライフプランニングと資金計画問題演習④	19	タックスプランニング問題演習⑤
	5	ライフプランニングと資金計画問題演習⑤	20	タックスプランニング問題演習⑥
	6	ライフプランニングと資金計画問題演習⑥	21	不動産問題演習①
	7	リスク管理問題演習①	22	不動産問題演習②
	8	リスク管理問題演習②	23	不動産問題演習③
	9	リスク管理問題演習③	24	不動産問題演習④
	10	リスク管理問題演習④	25	不動産問題演習⑤
	11	金融資産運用問題演習①	26	相続・事業承継問題演習①
	12	金融資産運用問題演習②	27	相続・事業承継問題演習②
	13	金融資産運用問題演習③	28	相続・事業承継問題演習③
	14	金融資産運用問題演習④	29	相続・事業承継問題演習④
	15	タックスプランニング問題演習①	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	FP総合		
実務家教員			
学部・学科	公務員学科(2年制)		
履修年次	2年次		
開講区分	前期		
科目区分	選択B		
授業方法	演習		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	F P 3 級に合格できるレベルの知識を身につける		
教科書	外販テキスト		
特記			
授業計画	1	過去問研究①	31 直前答案練習①
	2	過去問研究②	32 直前答案練習②
	3	過去問研究③	33 直前答案練習③
	4	過去問研究④	34 直前答案練習④
	5	過去問研究⑤	35 直前答案練習⑤
	6	過去問研究⑥	36 直前答案練習⑥
	7	過去問研究⑦	37 直前答案練習⑦
	8	過去問研究⑧	38 直前答案練習⑧
	9	過去問研究⑨	39 直前答案練習⑨
	10	過去問研究⑩	40 直前答案練習⑩
	11	過去問研究⑪	41 直前答案練習⑪
	12	過去問研究⑫	42 直前答案練習⑫
	13	過去問研究⑬	43 直前答案練習⑬
	14	過去問研究⑭	44 直前答案練習⑭
	15	過去問研究⑮	45 直前答案練習⑮
	16	過去問研究⑯	
	17	過去問研究⑰	
	18	過去問研究⑱	
	19	過去問研究⑲	
	20	過去問研究⑳	
	21	過去問研究㉑	
	22	過去問研究㉒	
	23	過去問研究㉓	
	24	過去問研究㉔	
	25	過去問研究㉕	
	26	過去問研究㉖	
	27	過去問研究㉗	
	28	過去問研究㉘	
	29	過去問研究㉙	
	30	過去問研究㉚	
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務会計		
実務家教員			
学部・学科	公務員学科(2年制)		
履修年次	2年次		
開講区分	後期		
科目区分	選択B		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度を理解するための講義		
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身につく」へステップアップを図る		
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	外貨建会計①	31 消費税法⑥
	2	外貨建会計②	32 消費税法⑦
	3	外貨建会計③	33 消費税法8
	4	外貨建会計④	34 消費税法⑨
	5	リース取引①	35 消費税法⑩
	6	リース取引②	36 法人税法①
	7	リース取引③	37 法人税法②
	8	リース取引④	38 法人税法③
	9	キャッシュ・フロー計算書①	39 法人税法④
	10	キャッシュ・フロー計算書②	40 法人税法⑤
	11	キャッシュ・フロー計算書③	41 法人税法⑥
	12	キャッシュ・フロー計算書④	42 法人税法⑦
	13	キャッシュ・フロー計算書⑤	43 法人税法⑧
	14	キャッシュ・フロー計算書⑥	44 法人税法⑨
	15	税効果会計①	45 確認テスト
	16	税効果会計②	
	17	税効果会計③	
	18	税効果会計④	
	19	税効果会計⑤	
	20	税効果会計⑥	
	21	退職給付会計①	
	22	退職給付会計②	
	23	退職給付会計③	
	24	退職給付会計④	
	25	退職給付会計⑤	
	26	消費税法①	
	27	消費税法②	
	28	消費税法③	
	29	消費税法④	
	30	消費税法⑤	
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	販売知識基礎		
実務家教員			
学部・学科	公務員学科(2年制)		
履修年次	2年次		
開講区分	通年		
科目区分	選択B		
授業方法	講義		
授業時間	90時間		
授業回数	45回		
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける		
教科書	外販テキスト		
特記			
授業計画	1	販売員の役割①	31 商業集積④
	2	販売員の役割②	32 商業集積⑤
	3	販売員の役割③	33 商業集積⑥
	4	販売員の法廷知識①	34 小売業のマーケティング①
	5	販売員の法廷知識②	35 小売業のマーケティング②
	6	販売員の法廷知識③	36 小売業のマーケティング③
	7	小売業の計数管理①	37 小売業のマーケティング④
	8	小売業の計数管理②	38 小売業のマーケティング⑤
	9	小売業の計数管理③	39 小売業のマーケティング⑥
	10	店舗管理①	40 顧客満足経営①
	11	店舗管理②	41 顧客満足経営②
	12	店舗管理③	42 顧客満足経営③
	13	店舗管理④	43 顧客満足経営④
	14	店舗管理⑤	44 顧客満足経営⑤
	15	店舗管理⑥	45 確認テスト
	16	流通における小売業①	
	17	流通における小売業②	
	18	流通における小売業③	
	19	流通における小売業④	
	20	流通における小売業⑤	
	21	流通における小売業⑥	
	22	組織形態別小売業①	
	23	組織形態別小売業②	
	24	組織形態別小売業③	
	25	店舗形態別小売業①	
	26	店舗形態別小売業②	
	27	店舗形態別小売業③	
	28	商業集積①	
	29	商業集積②	
	30	商業集積③	
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売知識応用			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択B			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	証券の設定と出店①	31	商品計画①
	2	証券の設定と出店②	32	商品計画②
	3	証券の設定と出店③	33	商品計画③
	4	リージョナルプロモーション①	34	販売計画及び仕入れ計画①
	5	リージョナルプロモーション②	35	販売計画及び仕入れ計画②
	6	リージョナルプロモーション③	36	販売計画及び仕入れ計画③
	7	顧客志向型売り場づくり①	37	価格設定①
	8	顧客志向型売り場づくり②	38	価格設定②
	9	顧客志向型売り場づくり③	39	価格設定③
	10	ストアオペレーション①	40	在庫管理①
	11	ストアオペレーション②	41	在庫管理②
	12	ストアオペレーション③	42	在庫管理③
	13	ストアオペレーション④	43	販売管理①
	14	ストアオペレーション⑤	44	販売管理②
	15	ストアオペレーション⑥	45	確認テスト
	16	梱包技術①		
	17	梱包技術②		
	18	梱包技術③		
	19	ディスプレイ①		
	20	ディスプレイ②		
	21	ディスプレイ③		
	22	商品①		
	23	商品②		
	24	商品③		
	25	マーチャンダイジング①		
	26	マーチャンダイジング②		
	27	マーチャンダイジング③		
	28	マーチャンダイジング④		
	29	マーチャンダイジング⑤		
	30	マーチャンダイジング⑥		
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITパスポート基礎			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択B			
授業方法	講義			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	企業活動①	31	ソフトウェア①
	2	企業活動②	32	ソフトウェア②
	3	法務①	33	ハードウェア
	4	法務②	34	ヒューマンインターフェース
	5	経営戦略マネジメント①	35	マルチメディア
	6	経営戦略マネジメント②	36	データベース①
	7	技術戦略マネジメント①	37	データベース②
	8	技術戦略マネジメント②	38	データベース③
	9	ビジネスインダストリ①	39	ネットワーク①
	10	ビジネスインダストリ②	40	ネットワーク②
	11	システム戦略①	41	ネットワーク③
	12	システム戦略②	42	セキュリティ①
	13	システム企画①	43	セキュリティ②
	14	システム企画②	44	セキュリティ③
	15	システム開発技術①	45	確認テスト
	16	システム開発技術②		
	17	ソフトウェア開発管理技術①		
	18	ソフトウェア開発管理技術②		
	19	プロジェクトマネジメント		
	20	サービスマネジメント①		
	21	サービスマネジメント②		
	22	システム監査①		
	23	システム監査②		
	24	基礎理論①		
	25	基礎理論②		
	26	アルゴリズムとプログラミング①		
	27	アルゴリズムとプログラミング②		
	28	コンピュータ構成要素①		
	29	コンピュータ構成要素②		
	30	システム構成要素		
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート・リテラシ演習	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と復習演習を行い、知識定着を図る	
達成目標	基本的な情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITリテラシ演習①
	2	ITリテラシ演習②
	3	ITリテラシ演習③
	4	ITリテラシ演習④
	5	ITリテラシ演習⑤
	6	ITリテラシ演習⑥
	7	ITリテラシ演習⑦
	8	ITパスポート演習①
	9	ITパスポート演習②
	10	ITパスポート演習③
	11	ITパスポート演習④
	12	ITパスポート演習⑤
	13	ITパスポート演習⑥
	14	ITパスポート演習⑦
	15	ITパスポート演習8
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITパスポート応用			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択 B			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え方をを問題演習を通じて学ぶ			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	ITパスポート総まとめ①	16	ITパスポート総合問題対策①
	2	ITパスポート総まとめ②	17	ITパスポート総合問題対策②
	3	ITパスポート総まとめ③	18	ITパスポート総合問題対策③
	4	ITパスポート総まとめ④	19	ITパスポート総合問題対策④
	5	ITパスポート総まとめ⑤	20	ITパスポート総合問題対策⑤
	6	ITパスポート総まとめ⑥	21	ITパスポート総合問題対策⑥
	7	ITパスポート総まとめ⑦	22	ITパスポート総合問題対策⑦
	8	ITパスポート総まとめ⑧	23	ITパスポート総合問題対策⑧
	9	ITパスポート総まとめ⑨	24	ITパスポート総合問題対策⑨
	10	ITパスポート総まとめ⑩	25	ITパスポート総合問題対策⑩
	11	ITパスポート総まとめ⑪	26	ITパスポート総合問題対策⑪
	12	ITパスポート総まとめ⑫	27	ITパスポート総合問題対策⑫
	13	ITパスポート総まとめ⑬	28	ITパスポート総合問題対策⑬
	14	ITパスポート総まとめ⑭	29	ITパスポート総合問題対策⑭
	15	ITパスポート総まとめ⑮	30	ITパスポート総合問題対策⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストを中心に総合評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択 B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループワークとは
	2	企画立案の流れ
	3	企画立案①
	4	企画立案②
	5	企画立案③
	6	企画立案④
	7	企画立案⑤
	8	企画書作成①
	9	企画書作成②
	10	企画書作成③
	11	プレゼン準備①
	12	プレゼン準備②
	13	プレゼン準備③
	14	発表①
	15	発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度を総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究・発表			
実務家教員				
学部・学科	公務員学科(2年制)			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択 B			
授業方法	演習			
授業時間	60時間			
授業回数	30回			
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する			
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る			
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する			
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト			
特記				
授業計画	1	企画作成①	16	オンラインプレゼン方法①
	2	企画作成②	17	オンラインプレゼン方法②
	3	企画作成③	18	オンラインプレゼン方法③
	4	企画作成④	19	企画のブラッシュアップ⑨
	5	企画作成⑤	20	企画のブラッシュアップ⑩
	6	中間発表①	21	企画のブラッシュアップ⑪
	7	中間発表②	22	企画のブラッシュアップ⑫
	8	企画のブラッシュアップ①	23	企画のブラッシュアップ⑬
	9	企画のブラッシュアップ②	24	企画のブラッシュアップ⑭
	10	企画のブラッシュアップ③	25	企画のブラッシュアップ⑮
	11	企画のブラッシュアップ④	26	企画のブラッシュアップ⑯
	12	企画のブラッシュアップ⑤	27	企画発表（校内）①
	13	企画のブラッシュアップ⑥	28	企画発表（校内）②
	14	企画のブラッシュアップ⑦	29	企画発表（企業向け）①
	15	企画のブラッシュアップ⑧	30	企画発表（企業向け）②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度を総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る。	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音
	2	中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化
	3	中国語発音の基礎(3) 声調と変調・r化現象・発音のおさらい
	4	簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	5	簡単な日常挨拶(2) 基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について
	6	数字を覚えよう 年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」
	7	数字の活用 「是」の省略・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」
	8	存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」＋名詞
	9	場所の表現 場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」
	10	買い物をする／値段を聞く&値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」
	11	乗り換えと両替 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看看」
	12	「是～的」の構文・結果補語・経験を表す文型「動詞＋过～」・まだ～していない「还没(有)～」
	13	確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」
	14	お客さんの出迎え&歓迎会 連体修飾語としての動詞、動詞構造、主述構造・程度補語 「得」
	15	別れを告げる&総復習 仮説を表す「～的话」,「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	公務員学科(2年制)	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	1．読み書きができる。 2．以下の簡単な会話ができる ①挨拶&自己紹介、②買い物でのやりとり、③店での注文、④道などを尋ねる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	オリエンテーション；韓国語に関する豆知識 基本母音
	2	基本子音①説明&子音「K」 復習と会話
	3	小テスト 基本子音②－「N」&「T」&「R」 基本子音③－「M」&「P」&「S」
	4	復習と会話 基本子音④－「J」&「H」＋まとめ
	5	小テスト 激音①－「Ch」&「Kh」 復習と会話
	6	激音②－「Th」&「Ph」＋まとめ 濃音①－「KK」&「TT」&「PP」
	7	小テスト 復習と会話 濃音②－「SS」&「JJ」＋まとめ
	8	パッチム①〔P20の説明、P23N〕 復習と会話
	9	小テスト パッチム②〔P20K、P21B〕 パッチム③〔P22M、P21NG〕
	10	復習と会話 パッチム④〔P23L、P22T〕＋まとめ
	11	小テスト 合成母音①〔P25&26の説明〕 復習と会話
	12	合成母音②〔P27、28〕 <1課>私は日本人です。
	13	小テスト 宿題チェック <1課>私は日本人です。
	14	まとめ <1課>宿題チェック／総復習
	15	最終到達度確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％ 筆記・実技による効果測定	
備考		